



上布田保育園



えんだより

令和6年7月31日

暑い日が続き、毎日「暑さ指数」とのにらめっこ…それでも早い時間での登園にご協力いただいているおかげで、子どもたちは暑さが押し寄せてくる前の朝のほんのひとときに行える水遊びを楽しみに過ごしています。

さて、とうとう園庭にひょうたん型の築山が出来上がりました。工事中はご協力ありがとうございました。秋には、ブランコのあった場所に畑を作ります。その周りには、みかんの木を植樹する予定です。虫好きの子どもたちのために、今まで職員や保護者の方が何匹もおおむしやカブトムシの幼虫たちを保育園に連れてきてくれ、自然の楽しさを体験してきました。「保育園の庭にも、もっと虫たちが来てくれないかな」と、造園業者さんと相談しながら柑橘系(おおむしの大好物🐛)の中でもとげの少ないみかんの木を選びました。子どもの「今」を考えて

造園業者さんが「まだ植樹までに時間があるから、とりあえず鉢で持ってくるね」と早々に3本のみかんの木を持ってきてくれました。来た時点でおおむしが一匹ついていて、大喜びしたのも束の間、すぐに姿が見えなくなり落胆していたところ、その木にアゲハ蝶が産卵しているのをHくんのお母さんが発見！もしかしたら、あのおおむしが無事蛹になり蝶になって戻ってきてくれたのかな…先日来てくれた虫博士も「驚くほど意外な場所まで移動して蛹になるんだよ」って言っていたなあ！と思い出し、想像を膨らませながらワクワクしています。秋まではまだ鉢植えのまま、登園門横に置いてあります。ぜひお子さんと一緒に虫たちの育ちを見守りながら楽しんでくださいね！



葉っぱの上に小さな卵🐛

そしてもう一つ、虫の話題です(笑)。先日、「たいへん！クワガタが逃げた！」と子どもたちが事務所に駆け込んできました。急いでついていくと、なぜか1階廊下の天井にクワガタが…！どうやら保育室の虫かごから逃げ出したクワガタのようです。さてさて、どうしようか…と子どもたちに投げかけてみると、「段ボールを棒にした先に、昆虫ゼリーをくっつけて採ってみる？」「大きな変な声出して、驚いて落ちてきたところを捕まえる？」などなど、面白いアイデアが次々出てきました。「先生が誰か抱っこして捕まえる？」という意見が出たところで、いつも一番に虫のお世話をしてくれるSくんが立候補してくれました！早速Sくんを持ち上げてみたところ、あともう少し背が足りない！近くで見ていた保育士体験中のYくんのお父さんが代わってくださり、見事クワガタはSくんの手でおうちである虫かごに戻っていきました。保育の中のほんの一場面のことですが、子どもたちが意見を出し合っ一生懸命考える姿に感動🌟 幼児クラスの毎日の「振り返りの会」の積み重ねや、夏まつりでの経験がしっかりと育ちに繋がっているなあ実感できました。そして、そこに自然と加わってくださる保護者の姿にもジーンと胸が熱くなった出来事でした。

暑さに負けず、子どもたちの育ちをこれからも分かち合っていきましょう♪

園長 小林三季

●今月の予定●

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
④	5	6 太鼓・ダンス	7	8 0・5歳児健診	9	10
⑪	⑫	13	14	15	16	17
⑱	19	20 太鼓・ダンス	21 避難訓練	22 誕生会	23 さくらお茶	24
⑳	26	27	28	29	30 引き取り訓練	31

●お願い・お知らせ●

◎8月30日引き取り訓練について

調布市内の保育園にて、8月30日(金)に一齐に防災訓練を実施します。園内では毎月1~2回の避難訓練を行っていますが、この引き取り訓練は、市内全体で年1回保護者の方も参加する訓練となっています。詳細は別紙のお知らせをご確認ください。また、添付のアンケートのご提出もお願いします。(〆切8月28日)

◎サマーボランティアが入ります

8月に保育の補助として一日1~2名ずつ、計4名のサマーボランティアが入ります。(午前中のみ)市民活動支援センターに登録した高校生、大学生のサマーボランティアです。夏の保育のお手伝いとして活躍してもらうとともに、子どもたちのパワーを受けとめてもらいながら、お互いの育ちに繋がる機会となればと思っています。*感染症の流行を見ながらの実施となります。

◎暑さ対策

酷暑と言われる日々が続いています。熱中症予防として、朝食と水分をしっかりとり登園しましょう。朝の一杯のスープは、水分と塩分が摂取できて有効的といえます。早起きをして、朝食の時間を作り、健康的に夏を楽しんでいきましょう！

◎新しく仲間入ります。

調理補助 新しく入りました。よろしくお願いします。

◎退職しました。

調理補助 保育補助
これからもお元気で！



夏まつりの感想ありがとうございました！

・今年、大きな保育参観というのをすごく感じる夏まつりでした。さくらさんの太鼓も、この時期はまだ未完成だけど、これが卒園が近づくにつれてグッとまとまってくるんだよな～なんてしみじみしちゃったり。子供たちの真剣に遊ぶ姿や、親に甘えたような笑顔。さくらさんのお店屋さんも工夫を感じてすごいです、特にドレス屋さん和ホールのお金魚すくい！それを見ながら来年は娘もやるのかー早いな一何やるのかなーなんていろいろ考えてしまいました。

・夏祭り、練習風景はコドモンでみていたものの、実際、太鼓をうつ姿をみて、「あーさくらさんになったんだな」と改めて思い、色々な感情がこみあげてきました。子どもたちのお店屋さんでは、かき氷のやり方がすごく、おもしろいなおもいました。子どもたちを主体に遊びが広がった素敵な夏祭りだったと思います。

・最高に楽しかった。先生たち毎年ありがとう！ 父母会役員もお疲れ様でした！

・なつまつりの期間中、朝起きると「なつまつり…」と呟きながら保育園へ行く準備をしていたり、最終日は「明日はなつまつりもうないの？」と聞くほど充実した4日間だったようです。親としても、学年が上がるごとにゲームのルールを理解して遊べるようになったり、仲良しのお友達ときゃっきやと遊んでいたりする姿を見られたりと成長を感じる土曜日でした。毎年スタンプラリーは無視されていましたが、今年初めて制覇されていて微笑ましく思いました。

・子どもたちのキラキラした笑顔とドキドキした汗と自分たちで考えた力作のおもちゃたちとお兄さんお姉さんに憧れる小さな瞳もすべて感動の時間でした(^)そして、大人も本気になってしまう仕掛けや先生方の写真が全部貼ってある、保護者の方々が準備して下さった様々な催しが上布田保育園で良かった、と心から思わせていただきました。

・さくら組のみんなが一生懸命考えたお店を、お友達に説明している姿に成長を感じました。家では出来ない多くの人達との関わりを通して色々な経験をしているんだなあと改めて感じました。ありがとうございました。

・子どもたちが楽しんでいてとても良かったです。娘が自分で輪投げ屋さんを運営している姿に感動し、自分がやりたいことを、ちゃんとカタチにする力がついていることを何より嬉しく思いました。ああいう創意工夫の活動がたくさんあるといいなと思いました。妹もとまどいながらも、いろいろ回ってて刺激をたくさんもらったようで、よかったです！

・普段可愛がってくれているさくら組のお兄さんお姉さんとは最初で最後の夏祭りで感慨深かったです。帰ってからもゲットしたヨーヨーで遊んだり、普段は渋っているお風呂も金魚をお風呂に入れてあげたいと進んで入ってくれました。

・子供にとって保育園での園児が行う夏祭りは初めてでしたので、「自分もこうやりたい」が出てきた事が分かりました。家ではお店屋さん、太鼓、盆踊りなど、夏祭りの余韻を楽しめ、来年への楽しみや出展の意欲を感じております。

・クラスでの模擬店は当日のお店屋さんの対応もさることながら、アイデアを話し合い、形にしていく過程も素晴らしかったと思います。父母会のゲームはやはり大人気でしたね。先生方、役員の皆さんお疲れさまでした！

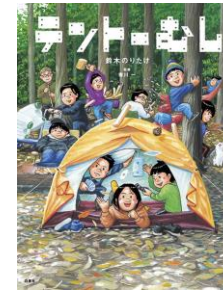
・夏まつりの1日目の夜、息子が帰ってくるなり、行列ができなくて悔しい、と話してくれました。そのような感情ができて話してくれた事が親として嬉しい限りです。本人にどうしたら良いか聞くと、景品をもっと豪華にするなど考えている様子もあり、日々さくらタイムでの発表など活かしているなと感じました。射的については、本人の意見をもとに整理し、まず輪ゴム鉄砲の改良をすることになり、ネットから作り方を探し出し作成していました。翌日帰ってくるなり行列ができ好評だったようで本人の自信にもつながり良い経験になったと思います。また、妹もドーナツ店を様々な方法で運営しており親の知らないところで成長しており驚きました。実際に土曜日見学させていただき二人とも頑張っていました。

・なつまつりを通して、娘がいかにか安心して保育園で過ごしているのかよく分かりました。また、子どもたちの主体的な活動づくりの一つであることが、参加してみてよく伝わりました。自分がどうしたいのか、どう考えているのか、そういうことが考え発信できる子になったらな～と、年長さんを見ていて思いました。とても楽しかったです。また来年が楽しみです。

● 今月のおすすめ本 ●

乳児向け「ぱかっ」

「たまごさん たまごさん」とよびかけてページをめくると、ぱかっ！ことりがうまれます。つぎからつぎへといろいろなものが、ぱかっ！と登場していきます。シンプルな言葉の繰り返しと、カラフルで楽しい絵変わりが心地よく楽しめるファーストブックです。



幼児向け「テントむし」

テント張り、まきわり、火おこし、焚き火に料理。はじめてのキャンプは、わくわくがいっぱい！家族と行く海辺のキャンプ、友だち10人で行く森のキャンプ。それぞれのキャンプを通じて、自然の中で思い思いに時間を過ごす子どもたちが、生き生きと描かれます。

はじめての火おこしに手こずったり、巨大なあぶり肉に挑戦したり、焚き火の前で夜中までおしゃべりしたり。

いつもとはちがう、特別なキャンプの時間がたっぷり味わえる絵本です

おとな向け「さみしい夜にはペンを持って」

「長編詩であり、冒険絵本であり、あらゆる少年少女のハンドブックであり、文章を書くことがすっかりおもしろくなってしまう魔法の本。

「こんな本は、世界中でもはじめてなんじゃないかな」

他者より先に、自分との人間関係を築くための本。

こんな方におすすめ

- 与えられた正解に違和感がある
- 自分の考えをうまく言葉にできない
- SNSに疲れてきた
- 悩んでいる子どもに何と言葉をかけていいかわからない



夏まつりの感想をたくさんの方にお寄せいただき、ありがとうございました！年齢ごとの楽しみ方や、夏まつりを通しての子どもの育ちが感じられる感想を、楽しく読ませていただきました！いくつか抜粋させていただきます。3daysを経ての4日目…子どもたちの成功や失敗、創意や工夫におうちの方々もしっかり向き合って下さり、一緒に考えてくれたことがわかり、縁の下の力持ちのお父さんとお母さんあっての子どもたちの育ちだと改めて感じました。子どもたちの計り知れない可能性と育ちを共に感じてくださったことも嬉しく、職員にとっても大きな経験となりました。

これからの保育にも繋がっていく素敵な夏まつりでした！ありがとうございました♪

事前の打ち合わせより、父母会の皆様にはたくさんのご協力を頂き、ありがとうございました！子どももおとも一緒に楽しい時間を過ごすことができました！

